

平成30年度 保健福祉部 健康づくり担当部長の目標宣言

部長メッセージ		保健福祉部 健康づくり担当部長	井上 稔
<p>生涯にわたって健康に暮らせるまちづくりの実現に向け、医療機関や大学などと連携を図り、健康づくりに欠かすことのできない体力づくりや食生活改善など市民の健康に対する意識を高め、一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組む環境や機会の提供に努めます。</p> <p>また、安心できる地域医療体制を維持するための「かかりつけ医」の普及啓発や疾病の予防、早期発見・早期治療に向けた健康診査・各種検診の充実に取り組みます。</p>			
部の主な役割		部を構成する課等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療、健康づくり ・生涯スポーツの企画・調整、スポーツ振興 ・国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金 		<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり課 スポーツ課 保険年金課 	

部の取組方針	
1	<p>【市民健康増進事業の推進を図ります】</p> <p>市民の健康寿命の延伸を図るため、健康づくり連携・運動推進チームにより、健診・検診、食育、運動、生きがいづくりを4本柱として、医療機関や大学をはじめとする幅広い分野と連携し、健康づくりを推進します。</p> <p>また、未病センターや健康相談事業等を通じ、健康意識の啓発及び疾病予防や病気の早期発見に繋げるなど、健康的な生活習慣の定着化を図ります。</p>
2	<p>【運動・スポーツ促進事業の推進を図ります】</p> <p>市民の運動実施率の向上と運動・スポーツ活動を通じた健康づくりを推進するため、誰もが、いつでも、どこでも生涯にわたりスポーツを親しめることができる環境づくりを進めます。</p>
3	<p>【医療保険制度、国民年金制度の適正な運営を図ります】</p> <p>国民健康保険では、医療費の動向を把握しながら、医療費適正化や保険税の収納率向上など財源確保に努め、円滑な財政運営を図ります。</p> <p>後期高齢者医療では、保険料徴収など、また、国民年金制度では年金相談など、それぞれの市の担当する業務において、適正な執行を図ります。</p>

具体的な取組と達成目標

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標
1	市民健康増進事業の推進 (健康づくり課)	市民の健康の維持・増進を図るため、大学、医療機関及び地域住民などと連携し、保健・医療等の各事業を通じ、市民の健康づくりを推進します。 また、未病センターを開設し、健康づくりに関する情報の提供等を行い健康意識の啓発を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談等参加者数 6,500人 ・栄養相談等参加者数 3,400人 ・健康バス参加者数 650人 ・未病センターの開設 平成30年7月
2	運動・スポーツ促進事業の推進 (スポーツ課)	総合型地域スポーツクラブの運営支援を行い、運動の機会を提供し交流の場を設けます。 また、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加及び世界大会を契機としたスポーツ振興事業等の実施により、市民の健康づくり、運動・スポーツの習慣化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・東海大学健康クラブの健康促進プログラムの提供を受ける市民の数 100人 ・伊勢原・ふれすぽ参加者人数 3,000人 ・チャレンジデー住民参加率 76%以上 ・タグラグビー及びボッチャ教室の開催 各2回
3	国民健康保険事業の適正運営の推進 (保険年金課)	国民健康保険事業の適正な運営に向け、医療費の適正化を推進するとともに、自主財源確保のため、保険税の収納率の向上を図ります。 また、医療費や国保事業費納付金等の動向を把握し、一般会計からの「その他繰入金」の縮減を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・保険税収納率(現年分) 91.4%以上 ・特定保健指導実施率 前年度実績以上 ・その他繰入金の縮減 平成31年度当初予算繰入額を前年度以下